

会議結果のお知らせ

1 開催した会議の名称

令和4年度第1回岩手県大規模事業評価専門委員会

2 開催した日時

令和4年6月13日（月）13：30～16：00

3 開催場所

岩手県水産会館 5階 大会議室（盛岡市内丸16-1）

4 出席委員

加藤徹委員長、狩野徹委員、竹内貴弘委員、松木佐和子委員、松山梨香子委員、八重樫健太郎委員、山本英和委員（8名中7名出席）

5 専門委員会議題等

(1) 議題

ア 令和4年度専門委員会の開催スケジュール等について

- 政策企画課から、令和4年度大規模事業評価専門委員会の開催スケジュールを説明。

イ 大規模施設整備事業の事前評価について

・ 紫波警察署庁舎等整備事業（紫波町）

〈諮問審議〉

- 政策企画課から諮問等について説明した。
- 引き続き、警察本部から評価内容について説明があった。
- その後、質疑等が行われ、その結果、継続して審議を要する事項及び追加説明が必要な事項はなしとなった。

■ 専門委員からの主な質疑等は次のとおり

(質疑)

証拠品センターは、どのような仕事をするところで、どこに所属するものか。

(回答)

平成22年4月の法改正で、人を死亡させた罪の公訴時効が撤廃されたことに伴い、未解決事件の証拠品を保管し続けなければならなくなったため、各警察署で保管できなくなった証拠品を移動させて適切に保管するところ。

証拠品は、各警察署の所管になるが、証拠品センターにおいて警察本部として保管するもの。DNA型の証拠品が損失しないような設備も備えたいと考えている。

(質疑)

これから実施設計・詳細設計するにあたり、トイレなど、多様性に配慮した設計を条件として考えて欲しい。また、工法について、鉄筋コンクリートということだが、例えば県産木材を使うなど、トータルで見てもCO2削減にも配慮した工法も検討して欲しい。

(回答)

トイレについては、男性用、女性用の他に、みんなのトイレということで、ハンディキャップがある方、車いすの方、オストメイト使用の方、誰でも使用できますという表示で設置することとしている。

CO₂削減の取組については、なるべく木材利用や植樹などを考えていきたい。

(質疑)

現在の交通機動隊の敷地売却による財源収入を見込んでいるが、現時点で目途があるのか。

(回答)

まずは県や地元市町村へ利活用の照会を行い、利活用の予定があればお譲りすることもある。それがなければ、一般競争入札で売却手続きを行う。しばらく先になるが、適正な時価で売却したい。

(質疑)

現在の交通機動隊の場所は、これから先も冠水の恐れがあるが、移転するまでの間どのような対応を行うのか。

また、紫波警察署の敷地は、浸水想定区域外ということで、ギリギリのところで大丈夫なのか、全く問題ないのか、再確認したい。

(回答)

事業が完成するまでの間は、従来どおり、大雨警報が発令されて浸水が予想される場合に、車両や白バイを高い位置や他の敷地へ避難させることで被害を最小限に留めたい。

紫波警察署の敷地は、ハザードマップでは全く色が付いておらず、付近に高い山や崖が無いことから土砂災害の危険性もない。

ウ 大規模公共事業の再評価について

・ 岩崎川広域河川改修事業（紫波町、矢巾町）

〈諮問審議〉

- 河川課から評価内容について説明があった。
- その後、質疑等が行われ、その結果、継続して審議を要する事項及び追加説明が必要な事項は次のとおりとなった。
 - ・ 代替案の可能性（遊水地やダムとの比較）について

■ 専門委員からの主な質疑等は次のとおり

(質疑)

芋沢川、太田川の事業進捗が図られるまでの対応として、想定しうる最大規模の洪水浸水想定区域図を公表とあるが、最大規模とは具体的に何年を想定しているのか。一般の方が分かるように記載してはどうか。

(回答)

概ね 1/1000 以上を想定している。一般資産は 1/30 で整備して守り、いずれやってくるであろう 1/1000 規模の洪水に対してはソフト対策で対応しようというもの。記載については検討したい。

(質疑)

事業期間が延長となった理由として、県内の他の洪水対策のために予算を配分する必要があるということだが、この事業の速度を一旦落としてでも他の事業を先にやらなければならないということを、県民に対して説明する文言を付け加えた方が良いのではないか。

(回答)

具体的に、県内のどの河川に重点的に予算を付けなければならないというのは説明できる。記載について検討したい。

(質疑)

今回事業期間がかなり延びるが、その間にも動植物の希少なものは変化していくと思われるが、期間が延びたことによって自然環境の調査が追加されることはあるのか。

(回答)

たしかに調査内容がかなり前になるので、詳細設計が終わった段階で、再度環境調査を行いたいと考えている。

(質疑)

代替案立案の可能性について、遊水地やダムとの比較をした資料はあるか。

(回答)

次回、整理してお示しする。

・ 閉伊川総合流域防災事業（宮古市）

〈諮問審議〉

- 河川課から評価内容について説明があった。
- その後、質疑等が行われ、その結果、継続して審議を要する事項及び追加説明が必要な事項は次のとおりとなった。
 - ・ B/Cにおけるマニュアル改訂の影響について

■ 専門委員からの主な質疑等は次のとおり

(質疑)

B/Cがかなり小さくなった理由について、土木施設の被害額が減少となったほか、一般資産の減少とは、住宅や会社などが減ったということか。

(回答)

そのとおり、たしかに減少しているが、減少割合は1%未満なので全体への影響はほとんどない。大きな要因はマニュアルの改訂である。

(質疑)

B/Cについて、やはりマニュアル改訂の影響が大きいため、一般資産とマニュアル改訂による影響を比較できるように整理して欲しい。

(回答)

次回、岩崎川も含めて整理してお示しする。

(質疑)

県の流域治水モデルの中で、二級河川のモデルもあると思うが、もしこの事業に関しても可能であれば記載してはどうか。

(回答)

流域治水の流れの中で、その一つには位置付けられているが、再評価とつながって
なかったため、今後作成する際には意識したい。

エ 第2回専門委員会（現地調査）について

現地調査の実施について、案の1のとおり、紫波警察署及び岩崎川を現地調査すること
となった。

(2) 会議資料

○資料 No. 1 令和4年度大規模事業評価専門委員会の開催スケジュール（案）

○資料 No. 2 大規模事業評価諮問書（写）

○資料 No. 3 令和4年度大規模事業評価地区 位置図（R4.6 諮問）

○資料 No. 4 大規模事業評価関係資料

【事前評価】

- ・紫波警察署庁舎等整備事業（紫波町）

【再評価】

- ・岩崎川広域河川改修事業（紫波町、矢巾町）
- ・閉伊川総合流域防災事業（宮古市）

○資料 No. 5 令和4年度大規模事業評価専門委員会 現地調査行程（案）

※ 会議資料及び会議録については、行政情報センターへ配架するとともに、県のホームページに掲載
します。

6 傍聴人数

報道 3社

7 問い合わせ先

〒020-8570 盛岡市内丸10番1号

岩手県政策企画部政策企画課 TEL：019-629-5181 FAX：019-629-6229

8 ホームページアドレス

<https://www.pref.iwate.jp/kensei/seisaku/hyouka/hyoukasenmon/1056664/1057104.html>

9 その他

政策等の評価について御意見がありましたら、上記問い合わせ先まで FAX 等でお寄せくださ
い。今後の専門委員会での審議の参考とさせていただきます。